

ゼロコロナ政策続く中国国民の本音、「怖くて旅行には行けない」

2022/09/26 日経ビジネス 佐伯 真也 上海支局長

新型コロナウイルスの感染再拡大で、成長に急ブレーキがかかった中国経済。各地で起こる「異変」を調べると、習近平政権が犯した3つの失策が見えてきた。中国政府による大きな政策ミスの一つは、コロナ感染拡大の封じ込めを狙う「ゼロコロナ政策」への固執だ。中国国民は不満を抱きながら、終わりの見えない行動制限と向き合っている。

「今、一番したいのは旅行。でもこの3年間、一度も上海から出られていない」。上海市内に住む張斌さんはため息交じりにこう話す。

9月の中秋節や10月の国慶節など行楽シーズンに突入する中で、中国国内では張さんのように旅行に二の足を踏む人が増えている。理由は中国政府が堅持する「ゼロコロナ政策」で行動が制限されているからだ。定期的なPCR検査で陰性という結果がなければ店舗などに入れないほか、感染者が増えた際にはロックダウン（都市封鎖）すらいとわぬ政策が続いている。



夏休みシーズンには「中国のハワイ」と呼ばれるリゾート地である海南省海南島が封鎖された（ロイター/アフロ）

「中国のハワイ」でロックダウン

影響を大きく受けているのが旅行業界だ。中国文化観光省の発表によると、コロナ感染が再拡大した2022年上半期の国内旅行者数は前年同期比22%減の14億5500万人となった。同期間の国内観光収入も1兆1700億元と28%減っている。

夏休みシーズンを迎えると、海南省やチベット自治区、新疆ウイグル自治区などの観光地で感染者が増加するという結果を招いた。「中国のハワイ」と呼ばれるリゾート地である海南省海南島が封鎖され、約8万人の観光客が島内に足止めされることになった。

9月の中秋節でも、旅行を自粛する動きは残ったまま。中国文化観光省の発表では、中秋

節の連休に国内旅行者数は 7340 万 9000 人と前年同期比で 16.7%減ったほか、同期間の観光収入も 286 億 8000 万元と 22.8%減った。「隔離されると仕事にも影響が出るため、旅行には行けない」（張さん）という声は多い。

ゼロコロナ政策による一連の行動制限は、消費者心理にも影響を与え始めている。中国人民銀行が発表した 8 月末時点での人民元建ての預金残高は 252 兆 3800 億元で、前年同期比で 11.3%増加した。前月比でも 1 兆元以上増えており、消費に振り向けられていない。

「先が見えないコロナ禍で節約志向が高まり、将来リスクに備える動きが加速している」と、中国でマーケティング支援などを手掛ける上海ファーストグループの植野芳雄董事は現在の消費意識をこう指摘する。

足元では 10 月中旬に開かれる共産党大会を控え、中国政府は景気よりゼロコロナ政策をいっそう強化している。9 月 10 日からは、航空便や高速鉄道などに乗る際には出発から 48 時間以内の PCR 検査の陰性結果の提示が必要となった。上海市も 9 月 19 日、市外からの訪問者へ、上海到着から 24 時間以内の PCR 検査の受診を求めた。8 月下旬以降、成都市や天津市などで、都市全体もしくは部分的な都市封鎖が実施されており、中国全体で 50 近くになる。

習国家主席は「防疫方針と政策を歪曲（わいきょく）し、疑い、否定する一切の言動と断固戦う」と宣言し、今年に入ってからゼロコロナ政策の堅持を強調してきた。確かに医療体制が脆弱な地方でコロナの感染が拡大すれば、医療崩壊と多くの死者が出る可能性は否定できない。一方で、湖北省武漢市のロックダウン以来、強権的な封じ込め策で成果を上げてきたことが強力な成功体験になっていたのも事実だ。



中国の習近平国家主席は「ゼロコロナ政策」の堅持を強調する（AP/アフロ）

深夜の隔離者輸送に批判

もつとも、中国国民の不満は爆発寸前にあるのも事実だ。9月18日未明、中国内陸の貴州省の高速道路で、コロナの感染疑いなどで隔離対象者を乗せたバスが横転し、27人が亡くなるという事故が発生した。深夜に山間部を運転していたということもあり、SNS（交流サイト）上には「ゼロコロナが間違いだ」「この過ちで変わってほしい」との批判の声が上がった。

それでも習政権はゼロコロナ政策に固執する。ある習近平ウオッチャーはこう指摘する。「習政権の成果は汚職などの腐敗政治の撲滅のみ。共同富裕政策が思うような成果を上げられない今、コロナ撲滅は譲れない一線だろう」

不動産バブルの崩壊に、イノベーション欠乏症、そしてゼロコロナ政策の失速。中国政府が進めてきた規制や対策の多くは思うような成果を上げられず、中国経済は停滞期を迎えつつある。それでも10月に開催される共産党大会では、習国家主席は異例の3期目が有力視されている。

「共同富裕を実現しなければならないが、平均主義ではない。まずパイを拡大し、合理的な制度を通じてパイをうまく切り分けて低所得者を向上させていく」。今年1月、世界経済フォーラムのオンライン形式の準備会合「ダボス・アジェンダ」に出席した習氏は、共同富裕をより現実路線へと軌道修正していく考えを示した。異例の3期目に突入する中で、現実的な解を示せるか。世界第2位の経済大国の決断を、世界が注目している。